

# 令和8年岐阜市長選挙 候補者アンケート

## 大須賀 しづか 氏 アンケートのご回答

### 1) NPOへの期待について(300字以内)

現代社会では社会的課題が多様化する中で、地域の課題解決のために様々なNPOなどの市民活動団体(以下「NPO等」という。)が活動しています。NPO等について、岐阜市のより良いまちづくりのために、期待することはありますか。

はい

いいえ

その他

私の公約の中に「健康づくりはまちづくりから」という考え方があります。健康格差をなくして、有病率や要介護を減らしていくために、市民が敷居低く関われるコミュニティーがたくさんあることが有効です(近藤克則医師の研究・実践)。その点でもNPOの活動は、非営利活動という名前が表しているように、公的な役割ではあるけれど、行政では担いきれない社会貢献があると感じています。

また、環境・文化・芸術など社会に潤いを与える活動も意義深いと感じます。いずれにしても、行政の枠組みにとらわれず、自由な発想と活動で社会を支えているNPO団体は貴重な存在であると認識しています。

### 2) NPOへの活動支援施策について(300字以内)

岐阜市では、現在「市民活動交流センター」の設置や「岐阜市市民活動支援事業」「市民活動団体登録制度」など、NPO等への支援施策が行われています。今後もNPO等の活動をより推進していくために、活動支援施策は必要だと考えますか。不要な場合はその理由、必要な場合はお考えの施策がありましたら、具体的にお答えください。

はい

いいえ

その他

私が役員をしているNPOも最近認定を受けましたが、設立までのご支援や、その後のご案内などで、センターにはお世話になりました。今回NPOの認定を受けたことで、発信力が増したこと、Microsoft・zoomの割引が受けられたことなど、団体の活動に弾みがついたと感じます。引き続き、設立に向けての相談アドバイスを担っていただけると良いです。また、会議場やイベント開催などでの会場費の補助を考えます。

メディアコスモスで、様々な市民活動支援がおこなわれているのはとても素晴らしいことだと感じます。

市民が自主的に各分野で生き生きと活動できる岐阜市を目指します。

3) NPOとの協働関係の構築について(300字以内)

「岐阜市未来のまちづくり構想 市民協働・防災・環境 一人ひとりの地域への想いをカタチに」では、NPO等が市との連携・協働により、地域社会の課題解決を図る取組を促進することが書かれています。今後も、岐阜市とNPO等が協働関係を築き、協働関係を発展させていく必要があると考えますか。不要な場合はその理由、必要な場合は協働関係の構築やその関係を有効に運用するためにお考えの施策等がありましたら、お答えください。

はい

・

いいえ

・

その他

行政だけでは担いきれない市民生活へのサポートは、NPOの活動抜きには語れません。かといって本来、市が担うことを丸投げするのでは、協働とは言えません。滋賀県野洲市は「行政の縦割りを超えた包括支援」に取り組んでいます。イメージとしてはそこにNPOが連携し、どこからでもスイッチが入れば、それぞれの市民に必要な支援が届くようになると良いと考えます。そのためにはNPOへの財政的支援、社協や社福との繋役、交流の場や事例紹介などを市行政が積極的に担う必要があります。

意欲があり、コミュニケーション能力に高い職員を育成し、コーディネーター体制を充実したいと思います。

ご協力ありがとうございました。